

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 1日

事業所名 えーるくらぶ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	60%	40%		・広くはない為、部屋を仕切るなどの工夫をしている。 ・状況に合わせて利用児の使用する部屋を分けている。	・今後も部屋の間取りや仕切りを利用して、子供たちがゆったり過ごせる環境を作っていきます。
	2 職員の配置数は適切である	20%	60%	20%	・五曜日や祝日は利用人数に合わせて職員が少ない体制で働くこともある。 ・職員が休みの日は利用人数によっては人で不足になるため、ヘルプの職員を起用している。	・スタッフの人数は限られていますが、その分他部署の支援員も入れて、今後も人数配置に気を付けてまいります。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%				
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		100%		・業務後に気づいたことがあれば、お互いに報告しあうよう声を掛け合っています。	・今後も遠慮なく気になることを話し合える環境を作り、環境や業務改善を行っていきけるよう努めてまいります。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	60%	40%		・保護者等向け評価表を活用し、業務改善における話し合いを行っています。また評価表結果を毎年ホームページに記載して更新しています。	・今後もアンケート調査を実施し、業務改善につなげてまいります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	60%	40%		・毎年自己評価をホームページに記載して更新しています。	・今後も自己評価を実施し、業務改善につなげてまいります。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	20%	80%			
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	60%	40%		・研修は定期的にはあるが、業務時間的に厳しい日もある。各自で動画を見る研修への参加が中心。	・今後も可能な限り研修に参加し、職員のスキルアップを目指してまいります。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%				
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	40%	60%			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%			・毎月活動カレンダーを作成し、保護者に配布しています。	・今後も毎月の活動カレンダー作成し、皆様に配っていきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	60%	40%		・新しい活動や遊びを少しずつ追加で企画している。 ・定期的に季節に応じた活動を考えで行っている。	・今後も毎月活動についての話し合いを行い、季節に合わせた活動や新しい活動を取り入れてまいります。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	20%	60%	20%	・各自担当職員とも話し合いながら課題を決めて取り組んでいます。	・今後も子どもたちの能力や環境に合わせて活動を立案していきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	80%	20%		・季節に合わせてたり利用児の能力に合わせて活動を組み込んでいます。	・今後も利用状況や季節に合わせて活動を設定し、環境を整えてまいります。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	80%		20%	・日によってはできないこともありませんが、なるべく当日の活動の確認作業を利用児来苑前に行っています。	・今後も可能な限り職員同士での情報交換や支援についての話し合いを行ってまいります。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	40%	40%	20%	・気になる点があった日は業務後にその都度報告しあっている。	・職員同士での情報交換を密にして、今後も各個人の支援について皆で支えられるように努めてまいります。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%				
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	40%	40%	20%	・モニタリングは相談員が主体で行っています。	・今後も各相談員と情報交換を行い、支援の見直しを行ってまいります。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている			100%			
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	60%	40%		・担当者会議には事前に担当や職員と打合せした児童発達支援管理責任者が参加しています。	・今後もなるべく担当者会議に参加し、情報共有を行ってまいります。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%				

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	80%	20%			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	40%	60%		・必要に応じて行っています。特に系列内の保育施設に関しては事前に情報ももらっています。	・今後も必要に応じて園や保護者様からの情報を聞き、支援に活かさせていただきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	80%	20%		・必要に応じて行っています。	・今後も保護者様から要望があった際には、情報を共有し、移行のサポートに努めてまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	40%	60%		・系列の金沢こども医療福祉センターとは連携を行っています。	・今後も系列だけでなく、必要に応じて専門機関との連携に努めてまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		20%	80%	・保護者様からの希望が少ない為、行っていません。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		40%	60%	・デイサービスの責任者が参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	80%	20%			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		80%	20%	・必要に応じて行っています。	・今後も必要に応じて家族支援を行ってまいります。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	80%	20%			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		40%	60%	・保護者様から要望が少ない為行っていません。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	60%	20%	20%	・行事に関しては毎月活動カレンダー、その他のお知らせに関してはその都度お知らせとして通知を行っております。	・定期的にふくみ苑としての広報を発行しています。デイのみの行事に関しては今後もその都度お知らせできるよう努めてまいります。
	35	個人情報に十分注意している	100%				
非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	80%	20%			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		80%	20%	・施設では毎年行っていました。が、現在新型コロナ感染対策のため行っていません。	・文化祭や夏祭りなど、今後も感染対策を考慮しながらふくみ苑全体で取り組んでまいります。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	60%	40%		・ふくみ苑全体として、職員のみで実施されています。	・今後も職員間でのマニュアル把握を務めるとともに、保護者様との共有する情報はないか検討してまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	80%	20%		・計画を立てているが、今年はコロナ感染者が出たため中止。 ・施設では職員のみでの訓練は実施	・今後も防災訓練を実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%			・月に1回委員会を実施しています。	・今後も委員会を中心に虐待防止について話し合い、意識の確認を職員間で行ってまいります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	40%	60%		・契約の際、アセスメントにアレルギーなどの記入をお願いしています。必要に応じて指示書をお願いする場合があります。	・今後も必要に応じて医師の指示書をもとに支援を行ってまいります。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%					